

ガクナイコンペ

VOL.11

アントニン・レーモンド冬の家

現代日本建築の原点、日本におけるモダニズム建築の祖ともいわれるアントニン・レーモンド。吉村順三、前川國男、増沢洵などの建築家が彼のもとで学んだことはよく知られるとともに、日本の伝統・風土がモダニズムと結びついた「レーモンドスタイル」とも称される木造モダニズム建築が創出され、数多くの作品を日本に残し建築界に影響を与えたのは言うまでもない。ここ札幌にも、彼の作品が現存している。(札幌聖ミカエル教会)

彼の追い求めていく建築の方向性を決定づけたものは、彼が来日初日に目にした日本の集落の風景であると言える。そこには、当時の日本の庶民の生活の中にある人と建物、建物と外部といった関係性が織り成す風景があった。今回は、「アントニン・レーモンドの「冬の家」」を考えてほしい。冬の場における人と自然との関係性またそこでの生活を具体的に想像し、アントニン・レーモンドの理念を踏まえた建築を表現してもらいたい。

□テーマ
アントニン・レーモンド「冬の家」

□設計条件(敷地・規模・用途)
敷地は自由であるが、北海道内に存在する敷地とする。どのような場所に建っているか具体的に設定して欲しい。規模については自由だが、2階建て程度とする。用途は住宅とする。他の用途を付加させても構わない。

□当日持参するもの
エンピツ一本からでも参加できます。シャープペン・鉛筆・色鉛筆・消しゴム・三角スケール・定規・カッター・セロハンテープ・スチのり・はさみ・金属製定規など。会場にてA2セント紙(1人数枚程度)、カッターマットは提供します。その他、昼食・防寒具は各自用意。(天候によっては製図室が寒くなることが予想されます。)

□懇親会のお知らせ
コンペ後、参加者・OB・OGを含めて懇親会があります。是非、気軽にご参加ください。

場所:1号館1階
自由学習コーナー
参加費:1500~2000円
※軽食・ソフトドリンクを用意してあります。

□提出
A2サイズセント紙1枚
平面図+設計意図を説明する断面・立面や内外観スケッチなど。模型の提出は認めません。パソコンを使用した作品・プリンターによる印刷物は認めません。

□場所
北海学園大学工学部校舎 4階製図室
札幌市中央区南26条西11丁目1-1

□日程
2018年10月6日(土)
9:00課題配布・設計開始
14:00課題提出
14:00~15:30プレゼンテーション
16:00~表彰・懇親会
※遅れての参加も認めますが、設計時間は短くなります。

□参加資格
北海学園大学・大学院に所属する学生であること。学部・学科は問いません。申込みは必要ありませんので、参加希望者は直接会場へお越しください。

□審査委員長
杉山 友和(ARCHIVE)
□審査委員
神谷 幸治(空間工作所)
米田 英美(ヨネタエミ建築スタジオ)
目黒 祥久(株式会社横河建築設計事務所)
出村 由貴子(出村建築設計事務所)
中川 幸之助(中川幸之助建築デザイン)
森本 かのこ(中川幸之助建築デザイン)

主催:北海学園大学ガクナイコンペ実行委員会
協賛:北海学園大学工学部建築学科

1等(1名)
ニーチェアエクス
ロックン(新居 猛)



2等(1名)
リキロック
(渡辺 力)



3等(1名)
ダストボックス・トラッシュ
(ジャスパー・モリソン)



4位(学年賞)(2名)
帝国ホテルマグカップ
フランク・ロイド・ライト

